義務教育学校

基本構想・基本計画まとまる

整備用地は緑が丘公園北側に決定

令和10年４月の開校に向け準備を進めている義務教育学校について、町はこのほど「基本構想・基本計画」を策定、公表しました。

この計画は、学校づくりを進める上での基本的な指針となるもので、整備用地や建物の規模、想定される児童生徒数、学校基本コンセプト、概算事業費、今後のスケジュールなどをまとめています。

このうち整備用地については、緑が丘公園北側の土地を選定。町は当初、早期に事業着手できる町有地の現朝日中学校周辺を予定地とし、昨年10月から測量調査等を実施しましたが、敷地東側の急傾斜地による建築制限や国の補助金面が問題となり、今年２月の総合教育会議で再検討することとしていました。

新たな整備用地の面積は約４・６ヘクタールで、現在の朝日中の敷地面積（約４・２ヘクタール）よりもやや大きい規模。用地に変更があったものの、開校時期については変更しないこととし、令和10年４月開校を目指して、引き続き準備を進めていきます。

詳細については、８月９日付の「開校準備通信第３号」をご覧ください。

項　目	計画概要
計画地および面積	朝日町大字四ノ沢字大道下 1015 番地ほか 総面積：46,369㎡
児童･生徒数（開校時）	258 人
学級数（開校時）	14 学級（普通学級９、特別支援学級５）
開校時期	令和 10 年４月
総事業費（概算）	60 億円（税込み）を上限とする。 総事業費には用地費、造成費、インフラ整備費、建築工事費、設計費、備品購入費、引っ越し費用等を見込む。解体費については統合対象校１校分を含む。
整備予定施設※	【屋内施設：想定延床面積 約 9,200㎡】 ・校舎：鉄筋コンクリート２階建て ・武道場：柔道場、剣道場各１面ずつ ・放課後児童クラブ（校舎併設） ・屋内運動場（大）（小） 【屋外施設：総面積 約 13,355㎡】 ・グラウンド：300 mトラック、直線 100 m ・テニスコート：２面分 ・一般車駐車場：150 台 ・スクールバス車庫 ・その他（遊び場、駐輪場等）
その他※	・図書館、体育館の地域開放 ・プールは既存の町民プールを、野球場は緑が丘公園を利用することとし新規整備しない。また、夜間照明も設置しない。

※現時点の検討内容で、未決定事項です。設計時にあらためて検討します。

校名募集

整備用地を含む「基本構想・基本計画」がまとまったことを受け、校名を募集します。

締切は**９月16日（月・祝）**とし、義務教育学校創設準備委員会で検討したあと、総合教育会議で決定。発表は11月１日の町制施行70周年記念式典にて行う予定です。

詳しくは８月９日付で全戸に配布したチラシをご覧ください。

開校準備通信第３号

町地域おこし協力隊と桃色ウサヒの「中の人」こと、佐藤恒平情報交流総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

朝日町の素敵な未来を作りたい

地域スポーツ･文化活動推進員　間地謙太（まちけんた）（神奈川県横浜市出身）

普段は教育文化課で活動しています

６月に教育文化課に着任した間地謙太です。中学校部活動の地域移行と町全体のスポーツ・文化活動推進がメインの仕事です。

部活動は損得抜きで純粋に楽しい青春時代の宝物です。僕自身も中学３年、高校４年（笑）の吹奏楽部はそうでした。

地域移行した部活動でも楽しく過ごし、「この先も朝日町で暮らしていこう」という気持ちにつながれば素敵だと思います。そして、大人になってからも、スポーツ・文化活動を通じて純粋な気持ちを持ち続けられる、そんな町の未来が作れるように今の一押し部活動「応援団」の気持ちで頑張ります。フレーフレー朝日町！

「大谷盆踊り」が復活します

大谷地区まちづくり推進員　頼實孝明（よりざねたかあき）（東京都港区出身）

大谷地区まちづくり推進員の頼實孝明です。

今年は朝日町の町制施行70周年記念として、「大谷風神祭」と「大谷盆踊り復活祭」が開催されます。

「大谷盆踊り復活祭」のチラシ

８月31日の風神祭は土曜日のため、多くの来訪者が予想され、地域は活気に満ち溢れることでしょう。また、約30年ぶりに復活する大谷盆踊りは、地域の伝統文化を体験できる場となることと思います。私は盆踊り実行委員会の事務方として地域をサポートします。

地域コミュニティの活性化と、風神祭への弾みを期待しています。皆さんぜひご参加ください。

町立図書館新刊案内

第171回直木賞受賞作
「ツミデミック」
一穂ミチ 著　光文社

大学を中退し、夜の街で客引きのバイトをしている優斗。ある日、中学時代に死んだはずの同級生の名を名乗る女が現れ…。「違う羽の鳥」「憐光」など、全６編を収録。

第171回芥川賞受賞作
「サンショウウオの四十九日」
朝比奈秋 著　新潮社

周りからは一人に見える。でも私のすぐ隣にいるのは別のわたし。不思議なことはなにもない。けれど姉妹は考える、隣のあなたは誰なのか、そして今これを考えているのは誰なのか――三島賞受賞作『植物少女』の衝撃再び。

第171回芥川賞受賞作
「バリ山行」
松永K三蔵 著　講談社

会社の付き合いを極力避けてきた波多は同僚に誘われるまま六甲山登山に参加する。その後も親睦を図る気楽な活動をするようになった波多だが、職人気質で職場で変人扱いされ孤立しているベテラン社員が難易度の高い登山をしていることを知ると……。

【その他の新刊】
▼百年の孤独／G・ガルシア＝マルケス　▼プラチナハーケン1980／海堂尊　▼六月のぶりぶりぎっちょう／万城目学　▼令和元年の人生ゲーム／麻布競馬場　▼兎は薄氷に駆ける／貴志祐介　▼定命／瀬戸内寂聴　▼ゼロ打ち／相場英雄　▼転がる珠玉のように／ブレイディみかこ　▼アイラップで簡単レシピ／橋本加名子　▼今こそ行きたい大人の社会科見学100選―楽しみながら学んで大人も大興奮！―／頭痛専門外来へ行こう！―年間３万人を診る専門医がやさしく解説―／金中直輔　▼19歳までに手に入れる７つの武器／樺沢紫苑　▼吉田類の愛する低山30〈２合目〉―NHKにっぽん百低山―／吉田類　▼こちら、沖縄美ら海水族館動物健康管理室。―世界一の治療をチームで目指す―／岩貞るみこ　▼はじめてのメダカ―メダカの第一人者・青木先生がていねいに教えます！―／青木崇浩　▼最上義光／加来耕三　など

【ブックテーマコーナー】
ひと工夫して
暑～い夏を乗り切ろう！